

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート南流山(1階)		
所在地	千葉県流山市大字木312(木B107街区14)		
自己評価作成日	平成31年2月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成31年3月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「わ」を紡ぎ繫げます。をコンセプトに、お客様、ご家族と共に又地域の方々とも交流を深めております。安心安全を大切にし健やかな暮らしが出来る施設を目指しております。
 お客様ご家族同志の交流を深めていただくためにハロウィーンパーティーやクリスマス会を開催しております。
 外出レクリエーションも行っており、江戸東京博物館、我孫子鳥の博物館や花見や外食等も行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム内の雰囲気は明るく、利用者の笑顔も各ユニットで多く見受けられています。各ユニット職員同士が連携し日々明るい雰囲気を作り、利用者とも馴染みの関係を築いています。利用者がホーム内で楽しく快適に生活できるように今年度は、食事レクリエーションや誕生日会、季節行事であるハロウィンやクリスマス会などホーム内でのイベントの充実力を注いでいます。また、近隣に開設した法人系列の施設とも連携し、認知症カフェやボランティアによる催し物への参加により利用者の楽しみの幅の拡充につながっています。今後は外出行事や外食なども定期的に取り入れさらなる楽しみの拡充を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設から5年「わ」を紡ぎ繋がります。のコンセプトを開設から5年紡ぎ繋げており、管理者、スタッフ共に共有し合い実践に繋がっております。	会社の社是、経営理念、心得を毎月実施しているホーム内での研修前に唱和をし職員間で共有化を図っています。また、「わ」を紡ぎ繋がりますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切にしたい支援の実践に向け全体で一丸となり取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の他事業所等に出掛け、他の施設のお客様やそのご家族、職員との交流を行いました。	ホーム近隣の法人内のサービス付き高齢者向け住宅で開催される認知症カフェに利用者と一緒に参加し地域の方と交流が図れるように取り組むほか、小学生の職場体験の受け入れなどを通じて地域の子ども達との交流につなげています。	今後に向けては地域のボランティアの導入なども検討し、地域との交流の輪がさらに広がることを期待しています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居のお問合せの中で介護相談も行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様ご家族、民生委員、市役所、地域包括ご出席いただき、助言をいただいたり事故等の御報告をさせて頂いております。	会議には民生委員、家族代表者のほか、地域包括支援センターと市の介護支援課担当者が交代で出席しています。会議ではホームの活動状況の報告のほか参加者との意見交換、身体拘束適正化委員会も毎回実施し必要な助言等を聴取しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の場においてご報告をさせて頂いております。また	市の介護保険課の担当者もホームの運営推進会議に地域包括支援センターと交互に参加しておりホームの状況や課題等を共有することができます。また、運営上相談事が生じた際にも市へ連絡を入れ指示を仰いでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内の研修に於いて身体拘束について学んでおり、スタッフも良く理解しております。新規採用時には説明をおこなっております。当事業所内では玄関の施錠はじよこなっておりますが、身体拘束の実施例はありません。	身体拘束適正化に向けた指針をホーム内に掲示するほか、身体拘束適正化委員会も運営推進会議時に実施しています。職員へは高齢者虐待・身体拘束廃止をテーマとした内部研修を通じて意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の研修に於いて高齢者虐待について学んでおり、スタッフも良く理解しております。新規採用時には説明をおこなっております。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束、高齢者虐待の研修の中で権利擁護に触れスタッフに周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学・初回面談、契約時に丁寧な説明を心がけお客様にご納得いただける様説明させていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時や運営推進会議などの場でご意見やご希望お尋ねし、精査したうえで実践につなげています。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議等で業務の改善の話し合いを行っており、スタッフの意見を尊重した導線作りに反映させています。	3ヶ月に一度管理者が職員との個人面談を定例化し近況の確認を行うほか、日頃からも職員には声をかけ意向や要望等を確認しています。また、毎月拠点会議を日開催し、業務や支援に関する意見を表出できる機会も設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	業務内容の見直しをユニット会議等で話し合い、又日々、個々のスタッフとの対話を通じて一人一人の意見を聞きやりがいを持って働ける様務めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での研修を通し技術・知識の向上に努めており、さんげ出来ないスタッフには資料を配布しております。研修の回数を同じ項目で複数回行いスタッフが出来るだけ参加できるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に参加し、意見や助言をいただいております。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	聞き取り、観察、会話を通し、本人の要望をみだし、不安の払しょくと安心安全な暮らしにつなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取り、観察、会話を通し、本人の要望をみだし、不安の払しょくと安心安全な暮らしにつなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族とよく話し合いご協力頂きながら本人により良い支援の提供を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人、ご家族とよく話し合い、本人の出来る事、出来ない事を把握し、お掃除、洗濯物を畳んでいただくことなどを手伝っていただきスタッフとの関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時に良くお話しをし、本人の状態、状況の情報共有に務め本人とご家族との信頼関係に務めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、外泊の制限は特になく自由に行っていただいております。ご家族との外食や旅行に行かれるお客様もいらつやいます。近隣の施設に訪問したり、ご家族以外の友人知人との面会もされております。	馴染みの人や場所との関係性の継続に向け利用者の友人の来訪の受け入れや家族の協力を得て自宅へ戻られたり、馴染みの場所にお連れ頂くなど、これまでの関係性が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケ、体操、外出レク等を行い部屋にこもりがちにならないように努めており舞う。また利用者同士の関係を見極め席替え等も行いながら関係を深めていただいております。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去したお客様の御家族に当施設で過ごされていた時のお写真などをお送りしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフ全体からの情報提供を受けて、サービス担当責任者やケアマネージャーと会議を開きお客様の本人の暮らし方の要望に出来るだけ応えて行く努力をしています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者を中心にお客様、ご家族から聞き取りを行い生活歴などの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフを中心に現状のお客様の状態を把握し情報共有に務め、日々のケアを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ全体がチームとなりご家族、医療関係者の意見を反映しケアマネージャーとともに作成しています。	ケアプラン作成や更新にあたっては担当者会議において職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成しています。ケアプラン作成後は家族に同意を得て、毎月のモニタリングにおいて目標の達成状況を確認しています。	ケアプラン内には主治医に協力を頂きながら支援を進めていくケースも確認できたため今後に向けては主治医の意見も担当者会議で確認できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や申し送りノートに情報を記載し情報共有をし、実践や計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自拠点のサービスに加え、訪問医療、訪問マッサージ等と協力して取り組んでいる。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買物や、外出レク、散歩等で地域は出向いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療、訪問歯科の提携医療機関は月2回の訪問診療があり、又、臨時的な往診も行っていました。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診療を受けられる体制を築き必要な医療を受けられる体制としています。提携先医療機関とは24時間連絡が可能であり緊急時も迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はおりませんが往診医による受診も常に可能な状態です。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はサマリー等の情報提供を速やかに行える体制を取っております。又入院状況の状態の情報を確認しに病院に出向きお見舞いと合わせて病院関係者との関係をきずいております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に於いてはご家族、本人の意向を把握し、医療機関との連携をとり、ケアの対応についてチームで話し合いを行って支援に取り組んでおります。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討し支援していく方針としています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の研修、マニュアルで周知しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マップを掲示し、消防訓練を年2回実施しております。	平成30年9月と31年3月に火災を想定した避難訓練を実施しています。3月の訓練では消防署の立会いも受けています。水害リスクについてはハザードマップにおいて確認しています。災害に備え備蓄品についても整備しホーム内で保管しています。	今後に向けては夜間の火災等を想定した避難訓練も実施し、夜間帯のリスク等を職員間で共有できると良いと考えます。

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳についての研修を行っており、言葉遣いやケアに於いて適切に行われるよう努めています。	利用者に対して適切な対応が図れるように、「お客様対応」、「認知症対応」をテーマとした研修を内部で実施しています。トイレ誘導時の声かけについても羞恥心に配慮し適切な対応を図っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の日々の状態や変化に合わせ、本人のご意向に合った働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の日々の状態や変化に合わせ、本人のご意向に合った働きかけを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容を行い、月1回の訪問整容をご希望があれば行っています。ご自身で着替えの可能な方は自由に着替えていただき、出来ない方はスタッフが季節やご希望があればそれに合わせた服を反映させており舞う。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器洗いやテーブルを拭いて頂くなどしています、又お客様の食べたい食事の情報をお聞きし献立作りに役立てています。	定期的に食事レクを取り入れ、ハンバーグや餃子作り、誕生日ケーキの飾りつけ等利用者も交え楽しみながら参加できるように工夫しています。利用者の誕生日にはリクエストに応えた食事メニューの提供などを通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食生活、禁食を把握し、時間にとらわれず食事の提供を行い、一日の食事、水分の摂取が出来るよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施、訪問歯科による定期健診を受けています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄介助に際し、時間やパターンの把握に努めています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の運動や水分摂取で便秘の解消に取り組んでいますが薬に頼らなければならないお客様もいらっしゃいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴日を設定しスケジュールを組んでいますが、お客様の意向や体調に合わせて入浴して頂いております。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制とし、季節に合わせてゆずや菖蒲湯なども取り入れ入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人一人の習慣に合わせて入眠いただいております、日中に於いても本人の体調や意向にあわせ休んでいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様の薬にの用法、効果、目的を医療関係者の情報をスタッフが把握し、お客様に説明しています。服薬の支援と観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	花見や博物館に出向いたり外出支援を行っています、またカラオケやスタッフとともに歌を歌ったり、ゲームを楽しんだりして抱えています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族同行の外出支援は未実施です。お客様の御家族をお呼びしてのハロウィンパーティーやクリスマス会の実施をしています。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れするほか、近隣スーパーへの買い物同行、系列施設で実施している認知症カフェへの参加、外出行事としてお花見や鳥の博物館、観光名所等に出かけ戸外活動の充実化に努めています。	

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様のお預かり金は原則事務所で一括管理させていただいております、買物の同行で職員と買物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の御希望により電話をかけたたり、取り次いだりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた模様替えや飾り付けを行い季節感のある空間を演出しています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮しています。行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様一人一人の席は基本的には決まっておりますが移動は自由に出来ます、お客様同士の相性もありますので、気の合ったお客様同士で過ごして頂けるよう配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器や危険物については持ち込み禁止ですが、日用品や使いなれた品物に関しては基本自由に持ち込んでいっしやいます。又本人の希望により必要な物品の購入する事も出来ます。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのももの持ち込みを可能とし、ご利用者が居室内でも居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の残存能力を理解し、活かしたケアを心掛け安全に配慮しながら自立した生活の支援を行っています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート南流山(2階)		
所在地	千葉県流山市大字木312(木B107街区14)		
自己評価作成日	平成31年2月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成31年3月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「わ」を紡ぎ繫げます。をコンセプトに、お客様、ご家族と共に又地域の方々とも交流を深めております。安心安全を大切にし健やかな暮らしが出来る施設を目指しております。
 お客様ご家族同志の交流を深めていただくためにハロウィーンパーティーやクリスマス会を開催しております。
 外出レクリエーションも行っており、江戸東京博物館、我孫子鳥の博物館や花見や外食等も行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム内の雰囲気は明るく、利用者の笑顔も各ユニットで多く見受けられています。各ユニット職員同士が連携し日々明るい雰囲気を作り、利用者とも馴染みの関係を築いています。利用者がホーム内で楽しく快適に生活できるように今年度は、食事レクリエーションや誕生日会、季節行事であるハロウィンやクリスマス会などホーム内でのイベントの充実力を注いでいます。また、近隣に開設した法人系列の施設とも連携し、認知症カフェやボランティアによる催し物への参加により利用者の楽しみの幅の拡充につながっています。今後は外出行事や外食なども定期的に取り入れさらなる楽しみの拡充を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設から5年「わ」を紡ぎ繋がります。のコンセプトを開設から5年紡ぎ繋げており、管理者、スタッフ共に共有し合い実践に繋がっております。	会社の社是、経営理念、心得を毎月実施しているホーム内での研修前に唱和をし職員間で共有化を図っています。また、「わ」を紡ぎ繋がりますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切にしたい支援の実践に向け全体で一丸となり取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の他事業所等に出掛け、他の施設のお客様やそのご家族、職員との交流を行いました。	ホーム近隣の法人内のサービス付き高齢者向け住宅で開催される認知症カフェに利用者と一緒に参加し地域の方と交流が図れるように取り組むほか、小学生の職場体験の受け入れなどを通じて地域の子ども達との交流につなげています。	今後に向けては地域のボランティアの導入なども検討し、地域との交流の輪がさらに広がることを期待しています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居のお問合せの中で介護相談も行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様ご家族、民生委員、市役所、地域包括ご出席いただき、助言をいただいたり事故等の御報告をさせて頂いております。	会議には民生委員、家族代表者のほか、地域包括支援センターと市の介護支援課担当者が交代で出席しています。会議ではホームの活動状況の報告のほか参加者との意見交換、身体拘束適正化委員会も毎回実施し必要な助言等を聴取しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の場においてご報告をさせて頂いております。また	市の介護保険課の担当者もホームの運営推進会議に地域包括支援センターと交互に参加しておりホームの状況や課題等を共有することができます。また、運営上相談事が生じた際にも市へ連絡を入れ指示を仰いでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内の研修に於いて身体拘束について学んでおり、スタッフも良く理解しております。新規採用時には説明をおこなっております。当事業所内では玄関の施錠はじよこなっておりますが、身体拘束の実施例はありません。	身体拘束適正化に向けた指針をホーム内に掲示するほか、身体拘束適正化委員会も運営推進会議時に実施しています。職員へは高齢者虐待・身体拘束廃止をテーマとした内部研修を通じて意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の研修に於いて高齢者虐待について学んでおり、スタッフも良く理解しております。新規採用時には説明をおこなっております。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束、高齢者虐待の研修の中で権利擁護に触れスタッフに周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学・初回面談、契約時に丁寧な説明を心がけお客様にご納得いただける様説明させていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時や運営推進会議などの場でご意見やご希望お尋ねし、精査したうえで実践につなげています。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議等で業務の改善の話し合いを行っており、スタッフの意見を尊重した導線作りに反映させています。	3ヶ月に一度管理者が職員との個人面談を定例化し近況の確認を行うほか、日頃からも職員には声をかけ意向や要望等を確認しています。また、毎月拠点会議を日開催し、業務や支援に関する意見等を表出できる機会も設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	業務内容の見直しをユニット会議等で話し合い、又日々、個々のスタッフとの対話を通じて一人一人の意見を聞きやりがいを持って働ける様務めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での研修を通し技術・知識の向上に努めており、さんげ出来ないスタッフには資料を配布しております。研修の回数を同じ項目で複数回行いスタッフが出来るだけ参加できるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に参加し、意見や助言をいただいております。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	聞き取り、観察、会話を通し、本人の要望をみだし、不安の払しょくと安心安全な暮らしにつなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取り、観察、会話を通し、本人の要望をみだし、不安の払しょくと安心安全な暮らしにつなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族とよく話し合いご協力頂きながら本人により良い支援の提供を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人、ご家族とよく話し合い、本人の出来る事、出来ない事を把握し、お掃除、洗濯物を畳んでいただくことなどを手伝っていただきスタッフとの関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時に良くお話しをし、本人の状態、状況の情報共有に務め本人とご家族との信頼関係に務めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、外泊の制限は特になく自由に行っていただいております。ご家族との外出や旅行に行かれるお客様もいらつやいます。近隣の施設に訪問したり、ご家族以外の友人知人との面会もされております。	馴染みの人や場所との関係性の継続に向け利用者の友人の来訪の受け入れや家族の協力を得て自宅へ戻られたり、馴染みの場所にお連れ頂くなど、これまでの関係性が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケ、体操、外出レク等を行い部屋にこもりがちにならないように努めており舞う。また利用者同士の関係を見極め席替え等も行いながら関係を深めていただいております。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去したお客様の御家族に当施設で過ごされていた時のお写真などをお送りしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフ全体からの情報提供を受けて、サービス担当責任者やケアマネージャーと会議を開きお客様の本人の暮らし方の要望に出来るだけ応えて行く努力をしています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者を中心にお客様、ご家族から聞き取りを行い生活歴などの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフを中心に現状のお客様の状態を把握し情報共有に務め、日々のケアを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ全体がチームとなりご家族、医療関係者の意見を反映しケアマネージャーとともに作成しています。	ケアプラン作成や更新にあたっては担当者会議において職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成しています。ケアプラン作成後は家族に同意を得て、毎月のモニタリングにおいて目標の達成状況を確認しています。	ケアプラン内には主治医に協力を頂きながら支援を進めていくケースも確認できたため今後に向けては主治医の意見も担当者会議で確認できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や申し送りノートに情報を記載し情報共有をし、実践や計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自拠点のサービスに加え、訪問医療、訪問マッサージ等と協力して取り組んでいる。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買物や、外出レク、散歩等で地域は出向いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療、訪問歯科の提携医療機関は月2回の訪問診療があり、又、臨時的な往診も行っていました。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診療を受けられる体制を築き必要な医療を受けられる体制としています。提携先医療機関とは24時間連絡が可能であり緊急時も迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はおりませんが往診医による受診も常に可能な状態です。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はサマリー等の情報提供を速やかに行える体制を取っております。又入院状況の状態の情報を確認しに病院に出向きお見舞いと合わせて病院関係者との関係をきずいております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に於いてはご家族、本人の意向を把握し、医療機関との連携をとり、ケアの対応についてチームで話し合いを行って支援に取り組んでおります。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討し支援していく方針としています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の研修、マニュアルで周知しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マップを掲示し、消防訓練を年2回実施しております。	平成30年9月と31年3月に火災を想定した避難訓練を実施しています。3月の訓練では消防署の立会いも受けています。水害リスクについてはハザードマップにおいて確認しています。災害に備え備蓄品についても整備しホーム内で保管しています。	今後に向けては夜間の火災等を想定した避難訓練も実施し、夜間帯のリスク等を職員間で共有できると良いと考えます。

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳についての研修を行っており、言葉遣いやケアに於いて適切に行われるよう努めています。	利用者に対して適切な対応が図れるように、「お客様対応」、「認知症対応」をテーマとした研修を内部で実施しています。トイレ誘導時の声かけについても羞恥心に配慮し適切な対応を図っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の日々の状態や変化に合わせ、本人のご意向に合った働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の日々の状態や変化に合わせ、本人のご意向に合った働きかけを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容を行い、月1回の訪問整容をご希望があれば行っています。ご自身で着替えの可能な方は自由に着替えていただき、出来ない方はスタッフが季節やご希望があればそれに合わせた服を反映させており舞う。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器洗いやテーブルを拭いて頂くなどしています、又お客様の食べたい食事の情報をお聞きし献立作りに役立てています。	定期的に食事レクを取り入れ、ハンバーグや餃子作り、誕生日ケーキの飾りつけ等利用者も交え楽しみながら参加できるように工夫しています。利用者の誕生日にはリクエストに応えた食事メニューの提供などを通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食生活、禁食を把握し、時間にとらわれず食事の提供を行い、一日の食事、水分の摂取が出来るよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施、訪問歯科による定期健診を受けています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄介助に際し、時間やパターンの把握に努めています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の運動や水分摂取で便秘の解消に取り組んでいますが薬に頼らなければならないお客様もいらっしゃいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴日を設定しスケジュールを組んでいますが、お客様の意向や体調に合わせて入浴して頂いております。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制とし、季節に合わせてゆずや菖蒲湯なども取り入れ入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人一人の習慣に合わせて入眠いただいております、日中に於いても本人の体調や意向にあわせ休んでいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様の薬にの用法、効果、目的を医療関係者の情報をスタッフが把握し、お客様に説明しています。服薬の支援と観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族同行の外出支援は未実施です。お客様の御家族をお呼びしてのハロウィンパーティーやクリスマス会の実施をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族同行の外出支援は未実施です。お客様の御家族をお呼びしてのハロウィンパーティーやクリスマス会の実施をしています。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れするほか、近隣スーパーへの買い物同行、系列施設で実施している認知症カフェへの参加、外出行事としてお花見や鳥の博物館、観光名所等に出かけ戸外活動の充実化に努めています。	

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様のお預かり金は原則事務所で一括管理させていただいております、買物の同行で職員と買物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の御希望により電話をかけたたり、取り次いだりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた模様替えや飾り付けを行い季節感のある空間を演出しています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮しています。行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様一人一人の席は基本的には決まっておりますが移動は自由に出来ます、お客様同士の相性もありますので、気の合ったお客様同士で過ごして頂けるよう配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器や危険物については持ち込み禁止ですが、日用品や使いなれた品物に関しては基本自由に持ち込んでいらっしゃいます。又本人の希望により必要な物品の購入する事も出来ます。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのももの持ち込みを可能とし、ご利用者が居室内でも居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の残存能力を理解し、活かしたケアを心掛け安全に配慮しながら自立した生活の支援を行っています。		